

グローバル・ヒューマン・キャピタル・トレンド2020に対応するWorkdayの特長

トレンド	Workdayの特長
<p>パーパス (存在意義) : 個性を追求しながら、 帰属意識を醸成する</p>	<p>帰属意識: 「安心」から「一体感」に、 そして「貢献」へ</p> <p>Workdayには、働く場所や組織内での役割に関わらず、組織への帰属意識を作り出し、発展させ、測定し、さらに高めていくための仕組みがあります。</p> <p>ウェルビーイング実現に向けた 仕事のデザイン: 仕事も人生も健やかに</p> <p>Workdayは従業員を中心として設計されており、従業員のウェルビーイングに対するニーズを特定し、「働きやすさ」や「働きがい」を向上させ、サポートする取り組みをサポートします。</p> <p>世代を超えた労働力: ミレニアル世代から ベネニアル人材へ</p> <p>Workdayは多様な従業員をサポートするテクノロジーソリューションを構築し続けています。パーソナライズされた機械学習により一人ひとりの従業員へ適切な学習・キャリア機会を提示する、貢献を認識して適正に報いる、コラボレーションやキャリアの形成を促すといったことができます。</p>
<p>ポテンシャル (可能性) : 刷新が求められる世界で 安心を創造する</p>	<p>スーパーチーム: AIをグループに加える</p> <p>Workdayピープルアナリティクス機能が備える拡張分析のテクノロジーは、HRアナリストチームが実施する分析業務を自動化します。Workdayの活用は、見つけるのは「至難の業」ともいべき従業員全体を対象とした長期におよぶ複雑な調査や分析を行う専門チームを持つことに匹敵します。</p> <p>ナレッジマネジメント: コネクテッドな世界における コンテキストの形成</p> <p>Workdayは、ユーザーが直感的な操作で各自の持つナレッジを提供しそれを組織全体で共有できる仕組みを持つ、生来のナレッジマネジメントソリューションです。</p> <p>新しいスキルの獲得を超えて: 不確実な未来に対する レジリエンスへの投資</p> <p>新機能であるスキルズ・クラウドには、機械学習を用いたスキルの分析・分類・管理・更新を行う仕組みがあります。これにより、常に更新され変化し続けるスキルを、ひとつの共通言語として活用できるようになりました。 従業員は自身が持つスキルを特定し、今後必要となるスキルとそのギャップを把握できるだけでなく、新たなスキルの習得や、スキル向上のためのラーニングやメンターシップ、個人のキャリア目標や関心に基づくプロジェクトやギグと呼ばれる単発の職務等に対するレコメンデーションを受けることができます。これは、組織における人材流動性を高め、組織と従業員双方にとっての機会創出を促す環境作りに役立ちます。</p>
<p>パースペクティブ (展望) : 不確実な時代にこそ 思い切った行動をする</p>	<p>報酬の難問: より人間的なアプローチのため の原則</p> <p>Workdayの報酬機能は、高いユーザーエクスペリエンスを備えています。 人事はWorkdayとマーケットのデータを活用して簡単に報酬パッケージを定義でき、マネージャーもWorkdayが提供するデータ分析の結果からインサイトを得て、会社業績や個人の目標達成と連動した適切な報酬を設定することができます。従業員本人は、総報酬明細の機能でいつでも自身の報酬と福利厚生全体の情報を知ることができます。</p> <p>人材戦略の手綱を握る: より良い結果を導く、 新たな問いかけ</p> <p>Workdayは、人材戦略に必要な要員計画・レポート・分析のすべての機能を有しています。信頼性の高いデータに基づき、絶え間なく変化するビジネスに遅れずに対応するための迅速な意思決定をサポートします。</p> <p>倫理と労働の未来: 「～は可能か?」から 「～をどのように行うか?」へ</p> <p>Future of Work (労働の未来) が急速に進化し、特に人間とテクノロジーが交差する領域において、新しいテクノロジーが労働者および社会に与える影響に関する新たな問題が、倫理アジェンダのトップに浮上しています。 Workday Talent Market Payscaleは、従業員とテクノロジーを結び付け、新しいキャリアの機会を提供する機能です。スキルズ・クラウドの機械学習テクノロジーにより、従業員には彼ら一人ひとりに特化したキャリアの機会として、自身の強みが活かせる機会や、新たに習得できるスキル、そして足りないスキルを補うための学習コンテンツが提示されます。</p>